



# 外国語活動 Teaching Basic Flow

～基本的な授業の流れ～

小学校

## 1 あいさつ&Warm-up



- 元気にあいさつをする。
- 英語で簡単なやりとりをする。
- 歌やチャンツを使って、本時の学習に関連する語彙や表現に慣れ親しませる。

## 2 活動

ALT や JTE と役割分担をしながら進めましょう

- 推測する
- 気付く  
分かる
- まねる
- 試す  
楽しむ

### ①導入&めあての提示

- Small Talk などを行い、本時の学習についての見通しをもたせる。
- 本時のめあて（ねらい）を児童と共有する。

### ②確認&練習

- 児童の気付きを大切にしながら、会話や聞き取れた内容等を確認する。
- 既習事項や新出の語彙、表現に慣れ親しませる活動をする。

### ③コミュニケーション活動

- デモンストレーションを行う。
- 自分の考えや気持ちを伝え合う活動をする。



## 3 振り返り&あいさつ

- 本時のめあて（ねらい）を基に振り返りをする。
- 良かったところを称賛し、元気にあいさつをする。



### ☆授業づくりの視点☆（授業を参観する視点）

- 興味・関心を高めるためのしかけはあるか
- 英語を聞く時間は十分に確保されているか
- 見通しのある、段階的な活動が入っているか
- 児童の思いや考えを交流する場面はあるか
- 外国語や外国の文化に触れる楽しさを味わえる場面はあるか

※一時間の授業が単元計画の中のどのような位置付けになっているのか、指導の重点や評価の観点を明確にしておくことが大切です。



### 下野市 英語教育の目標

国際社会で活躍できる  
子どもの育成



### 目指す子ども像

- ・自分の考えをもち、積極的に英語でコミュニケーションを図ることができる子ども
- ・互いの立場を尊重し、思いやりをもって人と接することができる子ども
- ・多様な価値観や文化をもった人々と関わり合う中で、主体的に自らを発信できる子ども



# 振り返りを充実させるために



「わらい」を示すことで

本時に、子どもが「何をするのか」「何ができるようになるればよいのか」を実感できるようにしましょう。

振り返りをすることで

1時間を通して、子どもが「何を学んだのか」を実感できるようにしましょう。

※下の3つの観点から振り返りを行い、クラス全体で学びを共有しましょう。

振り返りの観点	振り返り発問例
学習課題に対する <b>自己の学び</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に～できましたか。</li> <li>～について尋ねることができましたか。</li> <li>～について答えることができましたか。</li> <li>～に気付くことができましたか。(どんなことを気付きましたか)</li> <li>～について分かりましたか。(どんなことが分かりましたか)</li> <li>工夫して～できましたか。(工夫したことは何ですか)</li> <li>(前の時間と比較して) 自分ができるようになったことはありますか。</li> <li>頑張ったことは何ですか。</li> </ul>
(友達から学んだこと) <b>協働的な学び</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(友達を見て) すごいと思ったこと、まねしたいと思ったことはありますか。</li> <li>(友達の発表を聞いて) いいなあと思った表現はありますか。</li> </ul>
(新たな疑問、 やってみたいこと) <b>探究的な学び 課題の解決</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>もっと知りたい、調べてみたいと思ったことはありますか。</li> <li>(ALTの先生に) 聞いてみたいと思ったことはありますか。</li> <li>使ってみたい表現はありますか。</li> </ul>

低学年では、  
口頭で振り返り  
を行きましょう。

本時のわらい(評価規準)  
に基づく振り返りは必ず行  
いましょう。



